

令和7年度 文化庁概算要求の概要

(単位:億円)

区 分	前年度予算額	令和7年度 要求・要望額	増△減額	増△減率	備 考
文化庁予算	1,062	1,400	338	31.8%	

◇ 我が国成長の原動力となる文化芸術による新たな価値の創造 ◇

- ◆ 文化資源の持続可能な保存・活用による好循環の構築
- ◆ 世界に誇る多様な文化芸術の創造・発信

7年度要求・要望額（前年度予算額）

1. 文化資源の持続可能な保存・活用による好循環の構築

791.6億円（ 591.8億円）
※このほか「重要文化財等防災施設整備事業」等の一部を「事項要求」している。

(1) 継承の危機に瀕する文化財の修理・整備・活用及び防災対策等 400.1 億円（ 256.2 億円）

- ① 国宝・重要文化財建造物保存修理強化対策事業 134.3 億円（ 113.3 億円）
〔 国宝・重要文化財（建造物）の保存修理や公開活用事業等に対する補助を行う。
（うち木造建造物163件程度） 〕
- ② 国宝・重要文化財美術工芸品保存修理抜本強化事業 11.7 億円（ 10.8 億円）
〔 国宝・重要文化財（美術工芸品）の保存修理に対する補助を行う。
（230件程度） 〕
- ③ 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業 109.8 億円（ 50.6 億円）
〔 史跡等の文化財としての価値を維持するための保存修理や活用施設整備等に対する補助を行う。
（490件程度） 〕
- ④ 重要文化財等防災施設整備事業 67.9 億円（ 23.1 億円）
〔 国土強靱化計画等を踏まえ、地域の貴重な文化財を守る防災対策として、防火対策・耐震対策に係る施設整備補助を行う。
・重要文化財建造物(60件程度) ・美術工芸品(20件程度)
・史跡等(20件程度) ・耐震対策工事(50件程度) 等 〕
- ⑤ 文化財保存技術の伝承等 6.3 億円（ 4.9 億円）
〔 選定保存技術の保持者・保存団体の認定を促進するとともに、伝承者養成、わざの錬磨、修業期間中の後継者への研修経費等を補助する。
・選定保存技術保存団体(45団体程度) ・選定保存技術保持者(70人程度) 等 〕
- ⑥ 国立文化財修理センターの整備等 2.5 億円（ 0.2 億円）
〔 国宝・重要文化財（美術工芸品）等の修理技術の継承や、修理等に必要な用具・原材料の入手困難、修理スペースの狭あい化等の課題に対応するため、ナショナルセンターとして新たに人材育成や調査研究、公開機能も有する修理拠点を整備する。 〕
- ⑦ 文化財保存等のための伝統技術継承等事業 0.9 億円（ 0.8 億円）
〔 文化財の保存・継承に欠かせない用具・原材料の管理等業務への支援(36箇所程度)や伝承者の育成、代替品の実用化に向けた研究等を行う。 〕

(2) 多様な文化資源の公開活用の促進等

210.9 億円 (188.5 億円)

① 無形文化財の伝承・公開等

8.0 億円 (6.6 億円)

〔重要無形文化財の保持団体等が行う伝承者養成、技術研究、原材料・用具の確保、普及・啓発等への支援(48団体程度)、日本伝統工芸展の巡回展や能楽・組踊特別鑑賞会への支援、重要無形文化財保持者への特別助成(116名)を行う。〕

② 文化財保存活用地域計画作成の支援

2.5 億円 (2.5 億円)

〔地域における文化財の総合的かつ計画的な保存及び活用を図るため、市町村が文化財保存活用地域計画を作成する取組への支援を行う。〕

③ 地域伝統行事・民俗芸能等支援

9.6 億円 (4.2 億円)

〔地域の伝統行事・民俗芸能等の継承のための基盤整備に係る支援を行うとともに、情報発信や維持・継承に必要なノウハウの提供等を行う。(175件程度)〕

④ 日本遺産活性化推進事業

9.4 億円 (6.8 億円)

〔日本遺産の魅力向上に向けて総合的に取り組むとともに、国内外に戦略的に発信すること等により、日本遺産ストーリーを活用した地域活性化・観光振興を図る。〕

⑤ 高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設の整備

1.3 億円 (0.2 億円)

〔古墳壁画・石室石材を保存・メンテナンスし、将来に継承するとともに、国際交流の歴史等を踏まえながら、特別史跡や古墳壁画・石室石材の価値や魅力を発信する施設を整備する。〕

(3) 文化資源の保存・活用を支える拠点の機能強化

180.7 億円 (147.2 億円)

① 文化資源の保存・活用を支える国立文化施設の機能強化・整備

154.7 億円 (124.3 億円)

〔ナショナルセンターとして我が国の文化芸術の創造及び伝承・保存の中核となり、更には、文化観光の拠点として世界に向け発信するために必要な機能の充実と強化を図る。〕

◆独立行政法人国立科学博物館
・研究基盤強化事業

◆独立行政法人国立文化財機構
・所蔵文化財デジタル化・オープンデータ化の加速等

② 博物館機能強化の推進

6.0 億円 (4.0 億円)

〔博物館法改正を踏まえ、博物館のデジタル・アーカイブ化の取組や地域に貢献する特色ある取組とともに、新たに民間博物館の力を最大限に発揮した公益に資する地域還元型の取組を支援する。〕

・Museum DXの加速化
・特色ある博物館の取組支援 ①地域課題型、②ネットワーク型、③民間博物館活用型
・新制度におけるミュージアム応援事業

③ 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業

18.1 億円 (17.5 億円)

〔博物館等の文化拠点としての機能強化や地域における文化観光の総合的かつ一体的な推進を通じて「文化振興・観光振興・地域活性化」の好循環を創出する。
・文化観光拠点・地域の整備(50件程度)〕

※上記の他、宗務行政の推進を計上している。

2. 世界に誇る多様な文化芸術の創造・発信

559.5 億円 (424.7 億円)

※このほか「国立劇場再整備」等を「事項要求」している。

(1) グローバル展開、CBXの推進、活動環境向上等による創造的循環の創出

20.5 億円 (11.4 億円)

① 文化芸術の持続的な発展のための基盤強化

8.8 億円 (3.0 億円)

〔文化と経済の好循環を実現するため、文化芸術関係者の活動環境の改善に向けた取組とともに文化芸術団体の自律的・持続的な発展や幅広い価値の向上を目指した取組への支援により、文化芸術活動を生み出す「土壌」となる文化芸術基盤の強化を図る。〕

・芸術家等の活動基盤強化
・芸術家等の尊厳ある創造環境向上促進事業
・文化芸術団体の自律的・持続的運営促進事業 等

② 文化芸術のグローバル展開・CBXの推進

11.7 億円 (8.4 億円)

文化と経済の好循環を実現するため、国際的なアートフェアへの出展支援や、国際的なアート拠点の形成に向けた取組、若手アーティストや活字文化の戦略的な海外発信等により、我が国の文化芸術の国際的な存在感を向上させる。

- ・我が国アートのグローバル展開推進事業
- ・世界から人を惹きつけるグローバル拠点形成の推進事業
- ・未来のトップアーティスト等の国際的活動支援事業
- ・活字文化のグローバル展開推進事業

等

(2) 創造活動・クリエイター等育成による国際プレゼンスの強化

237.7 億円 (151.2 億円)

① 舞台芸術等総合支援事業

106.2 億円 (94.2 億円)

グローバル展開に向けた公演創造活動への支援、統括団体の伴走型支援による新進芸術家等人材育成、新たな活動拠点の形成による文化芸術水準の向上・国家ブランドの形成・文化と経済の好循環を実現させるとともに、文化的地域格差を解消し、一人でも多くの国民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。

- | | |
|--|--|
| <p>〈人材育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校巡回公演 ・芸術家等人材育成 | <p>〈創造活動の推進・海外展開等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国を代表する芸術団体等が行う優れた公演等への支援 ・創造団体等が行う優れた公演等への支援(公演事業支援、ステップアップ) ・国際芸術交流支援(海外公演、国際共同制作公演、国際フェスティバル) ・人材育成・収益化に向けた舞台芸術デジタルアーカイブ化推進支援 ・全国キャラバン |
|--|--|

② 現代的課題に対応した劇場・音楽堂等の総合的な機能強化の推進

44.3 億円 (26.9 億円)

劇場・音楽堂等におけるオペラ、バレエ、オーケストラ、歌舞伎等の実演芸術の創造発信や人材養成、普及啓発、施設間のネットワーク形成や子供の鑑賞機会を提供する取組などへの支援を通じ、劇場・音楽堂等が地域の核として、世界に響く芸術の拠点として、機能強化を推進する。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・総合支援事業(15件程度) ・共同制作事業(2件程度) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業(119件程度) ・劇場・音楽堂等ネットワーク強化事業(38件程度) ・劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業(378件程度) 等 |
|---|---|

③ 日本映画の創造・振興プラン

13.1 億円 (11.8 億円)

日本映画の振興のため、優れた劇映画やアニメーション映画等の製作支援等を通じて創造活動を促進するほか、国内外の映画祭等における積極的な発信・海外展開・人材交流を行うとともに、日本映画の魅力や多様性を強化し、その基盤を維持するため、映画に関わる人材育成を行う。※経済産業省との共同要求含む。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・日本映画製作支援 ・若手映画作家等の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本映画の海外発信 ・国際映画祭支援 |
|--|--|

④ メディア芸術の創造・発信プラン

10.1 億円 (9.0 億円)

マンガ、アニメ、ゲーム、メディア・アート等メディア芸術の振興に向けて、クリエイター等に求められるスキル等調査や、基礎教育プログラム提供等を通じた人材育成、全国の所蔵館等におけるアーカイブの取組支援、散逸や劣化の危険性が高いマンガ等の原画やセル画等の中間生成物の収集・保存・活用に係る調査研究事業等を実施する。

- ・メディア芸術人材育成事業(マンガ、アニメ、ゲーム、メディアアート)
- ・メディア芸術連携基盤等整備推進事業
- ・マンガ・アニメ等中間生成物の保存活用事業

⑤ クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業

54.2 億円 (1.6 億円)

質の高いコンテンツを持続的に生み出し、世界に発信・展開する才能豊かなクリエイター等の教育・人材育成、企画開発、製作から国際展開支援、収益最大化等までをシームレスな枠組みで、「文化芸術活動基盤基金」を活用して5年程度の活動の下で、3年程度、弾力的かつ複数年にわたる支援を強化する。また、経産省と連携してクリエイター支援・事業者支援を一体的に推進する運営体制の強化を図る。

⑥ 海賊版対策事業

2.3 億円 (1.3 億円)

我が国の著作物の保護及びコンテンツ産業の発展のため、クリエイター等が権利行使を行いやすい環境を整備するとともに、国際的な海賊版対策のための普及啓発活動等を行う。

(3) 多様な文化芸術による社会・経済的価値の醸成

135.3 億円 (107.5 億円)

① 障害者等による文化芸術活動推進事業

5.3 億円 (4.3 億円)

共生社会の実現に向け、障害の有無等に関わらず、誰もが文化芸術に参加できる機会を提供するため、鑑賞・創造・発表活動に係る先導的・試行的取組や、文化芸術へのアクセス改善の取組等を支援するとともに、障害者等の鑑賞に配慮した取組や利用しやすい環境づくりに係る研修の取組を支援する。(31件程度)

②地域文化共創基盤の構築

16.3 億円 (11.0 億円)

〔 地方公共団体が主体となつて行う文化芸術創造拠点形成に向けた取組や、滞在アーティストと地域住民等との協働による活動を一体的に実施する。〕

- ・文化芸術創造拠点形成事業(50件程度)
- ・アーティスト・イン・レジデンス型地域協働支援事業(9件程度)

③文化部活動改革

7.5 億円 (4.8 億円)

～部活動の地域連携や地域文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備～

〔 地域の実情に応じた持続可能で多様な文化芸術環境を整備、かつ多様な体験機会を確保し、少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちが文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保する。〕

- ・部活動の地域移行に向けた実証事業 47都道府県、402市町村程度
- ・地域文化クラブ活動推進事業 2団体程度
- ・中学校における部活動指導員の配置支援事業 3,500人程度

④文化芸術による創造性豊かな子供の育成

98.3 億円 (80.3 億円)

○学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業

59.1 億円 (55.5 億円)

※「(2)舞台芸術等総合支援事業」計上分を含む

〔 学校授業における文化芸術体験機会を提供することにより、豊かな人間性の涵養を図るとともに将来の文化芸術の担い手や観客育成等に資することを目指し、学校・地域において一流の文化芸術団体や障害者芸術団体による公演などに触れる環境の充実を図る。〕

- ・学校巡回公演:1,876公演程度
- ・ユニバーサル公演:250公演程度
- ・芸術家の派遣:2,990公演程度
- ・文化施設等活用公演:200公演程度
- ・コミュニケーション能力向上:200件程度
- ・芸術教育ICT活用実証事業:4教科2か所程度等

○伝統文化親子教室事業

18.6 億円 (14.9 億円)

〔 子供たちが親とともに、地域の茶道、華道、和装、囲碁、将棋などの伝統文化・生活文化等を体験・修得するきっかけづくりや、体験・修得機会を計画的・継続的に提供する取組を支援する。〕

- ・教室実施型:3,000件程度
- ・地域展開型:100件程度
- ・統括実施型:12件程度

○劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

20.6 億円 (10.0 億円)

※「(2)現代的課題に対応した劇場・音楽堂等の総合的な機能強化の推進」計上分を含む

〔 劇場・音楽堂等で行われる、子供たちの鑑賞・体験の機会を提供する公演を実施するための費用等を支援し、子供たちの実演芸術に親しむことができる環境づくりの推進を図る。(378件程度)〕

(4)文化芸術の振興を支える基盤の機能強化

233.9 億円 (209.7 億円)

①文化芸術の振興を支える国立文化施設の機能強化・整備

218.9 億円 (198.2 億円)

〔 ナショナルセンターとして我が国の文化芸術の創造及び発展等の中核となり、更には、文化観光の拠点として世界に向け発信するために必要な機能の充実と強化を図る。〕

◆独立行政法人国立美術館

- ・美術品のデジタル化推進とコレクション管理業務標準化事業
- ・メディア芸術ナショナルセンター(仮称)の整備

◆独立行政法人日本芸術文化振興会

- ・国立劇場再整備
- ・舞台芸術グローバル拠点事業

※国立劇場再整備は事項要求

等

②国語施策の充実

3.5 億円 (1.9 億円)

〔 国語の改善・普及のための調査研究、アイヌ語や奄美・沖縄等の危機言語・方言の保存・継承、現代日本語の大規模データベースの構築等のほか、文字・活字文化の振興に資する地域モデルの創出に向けた取組を実施する。〕

③DX時代の著作権施策の推進

5.3 億円 (3.7 億円)

※「(2)海賊版対策事業」計上分を含む

〔 DX時代における法制度と運用の実現のための調査研究、分野横断権利情報検索システム等の構築など権利情報の集約化とその活用のための環境整備や調査研究、権利者による権利行使のための環境整備と実行支援、国際的な海賊版対策のための普及啓発活動を行う。〕

※復興特別会計において、被災ミュージアム再興事業 2億円を計上。

※この他、国際観光旅客税財源事業は、観光庁に一括計上し、予算編成過程において内容が精査される。